「赤旗」宣伝スポット

２０１９年１０月

　ご近所、ご通行中のみなさん、こんにちは。日本共産党です。今日は、日本共産党が発行する「しんぶん赤旗」を、おすすめにまいりました。

※日刊の「しんぶん赤旗」は、多彩な紙面を毎日お届けし、１カ月３４９７円です。スマホで読める電子版もあります。家族みんなで楽しめる、週刊の「赤旗」日曜版は、１カ月９３０円です。

●１０％も消費税を取られるなんて、ひどすぎます。安倍政権は、２度の増税で消費税を倍にしました。しかし、医療も介護も年金も悪くなるばかりです。大企業や超富裕層だけは減税の恩恵を受けています。消費税は廃止へ。まず、５％に戻しましょう。くらしを守る「しんぶん赤旗」をお読みください。

●安倍首相は、憲法改定を〝令和の時代の新しい国づくり〟だと言っています。しかし、狙っているのは、９条改憲で、日本を海外で武力行使できる国にすること。日本を古い時代に逆戻りさせるものです。「しんぶん赤旗」は、安倍改憲の危険性を明らかにし、平和と民主主義、人権を守るために全力をあげています。是非、お読みください。

●関西電力の幹部が、自治体の元幹部や関連会社から、何億円も受け取っていました。電力料金を元手とした「原発マネー」の還流という重大な疑惑です。腐敗と癒着の原発利権には、自民党政治家の名前もあがっています。「しんぶん赤旗」は、原発利権の闇に真実の報道で光をあてています。是非、お読みください。

※くり返し

●大きな災害が、全国各地で起きています。台風の直接的な被害だけでなく、長引く停電が深刻な影響を広げることもあります。日本共産党の議員は、被災者への救援と復旧・復興のため全力をあげます。「しんぶん赤旗」は、被災者の立場で災害報道を続けています。ぜひお読みください。

●若者たちが世界中で地球温暖化への対策を求めて立ち上がっています。しかし、安倍政権は後ろ向きで、国連の気候行動サミットでも、役割を果たせません。「しんぶん赤旗」は、温暖化の危機的状態と、その打開を求める運動を積極的に報じています。ぜひお読みください。

●性暴力への無罪判決をきっかけに、全国に広がっているフラワーデモ。差別や暴力、ハラスメントに声をあげ、声をあげた人を孤立させない運動が急速に広がっています。日本共産党は、「個人の尊厳とジェンダー平等を前にすすめる政治をつくろう」とみなさんと一緒にとりくんでいます。差別や分断をなくし、誰もが生きやすい社会へ、「しんぶん赤旗」は、希望の動き、声を届けます。

※くり返し

●「給料は上がらないのに、消費税は上がる」「社会保障は、負担ばかり大きくなる」こんな安倍政権の政治はもうゴメンです。日本共産党は、希望ある政治に変えるため、市民と野党でつくる政権の実現に向け、野党各党と話し合いを進めています。野党共闘は、参院選挙後も、埼玉、岩手の県知事選の勝利と力を発揮しています。市民と野党の共闘を支え、発展させる「しんぶん赤旗」をぜひお読みください。

●安倍政権のもとで、言論の自由・表現の自由が侵害されています。愛知で開催された国際芸術祭の企画展「表現の不自由展・その後」に、政治的圧力や脅迫が加えられました。文化庁は、出すことを決めていた補助金を取り消しましたが、権力者が好まない作品を差別し抑圧するやり方は、許されません。真実を伝える「しんぶん赤旗」をお読みください。

●日本と韓国の政府の関係が悪くなっています。安倍政権は、韓国を一方的に批判しますが、それでは話がこじれるだけです。日本が韓国を植民地にしてひどいことをした歴史をふまえ、被害者に寄り添う気持ちが大切ではないでしょうか。「しんぶん赤旗」は、歴史の事実を紹介し、相互理解と友好を深める道を冷静に報道しています。ぜひお読みください。

※くり返し